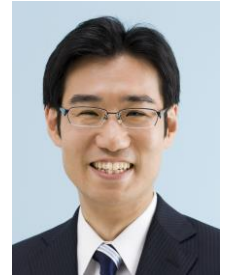


清水ひろし

からの手紙



第 91 号

令和 4 (2022) 年 梅雨号

6 月に入り、新しい構成による各委員会が開会されています。今月 21 日(火)から開会される 6 月会議には、現下の物価高騰に対応するための補正予算案が提出をされます。裏面には、実施をされている家電買替やエコ助成について掲載致します。

今日の数字？

0 人

物価高騰への支援対策 補正予算 7 億 3800 万円を審議へ

今年度 1 回目の補正予算案は、燃料や物価高に対し、事業者や子育て世帯等への支援策が盛り込まれた内容です。速やかに実行出来るよう、6 月中に成立をはかる予定です。

(1) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業…7,921 万円

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限が 6 月末から 8 月末まで延長されたため、経費を追加計上する。

(2) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業…2 億 5,105 万円

物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯の生活を支援するため、児童一人当たり 5 万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

(3) 介護・障害福祉サービス事業者への物価高騰対策補助事業…7,930 万円

原油価格や電気・ガス料金等の物価高騰の影響を受ける区内の介護・障害福祉サービス事業者の負担を軽減し、良質なサービスを継続できるよう施設を対象とした新たな補助事業を実施する。



(4) 障がい者への自動車燃料費助成の充実…305 万円

自動車を運転する心身障がい者や、障がい者のために自動車を運転する家族に対し実施している自動車燃料費助成について、補助上限額を引き上げることにより負担軽減を図る。

(5) 子育て施設等における物価高騰対策補助事業…6,410 万円

物価高騰等の影響を受ける区内子育て施設等を支援するため、保育事業者等の負担軽減を目的とした新たな補助事業を実施する。



(6) 公衆浴場燃料費助成の拡充…1,230 万円

燃料費高騰に直面する公衆浴場の経営の安定化を図るため、既存補助事業の助成対象を広げるとともに、補助金額を拡充した上で実施する。

(7) 経済急変対応融資…2 億 1,067 万円

原油価格や物価高騰等に苦しむ区内中小企業者を支援するため、経済急変対応融資を実施するとともに、昨年度実施した新型コロナウイルス感染症対応分についても、利子補給を増額する。



(8) 小中学校給食食材費補助の拡充…3,829 万円

食材費が高騰する中においても、必要な栄養を満たした学校給食を安定的に実施できるよう、小中学校に対する給食食材費補助を拡充する。

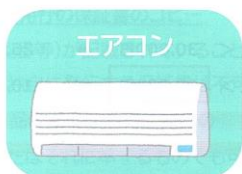
家電買替・エコ助成メニュー

荒川区環境課では、省エネ家電への買替え、宅配ボックスの設置、節水トイレへの改修などの助成メニューを設けています。詳細は区 HP 等をご覧ください。 問合せ：荒川区環境課 3802-3111（代表）

省エネ家電買替助成事業

助成限度額：区内店舗での購入：3万円
区外店舗での購入：1万円

■エアコンまたは冷蔵庫のどちらか1回1台のみ申請可能です。



エアコン

または



冷蔵庫

■統一省エネラベル4つ星以上
(省エネ基準達成率 114%以上)



(例)統一省エネラベルイメージ(エアコン)

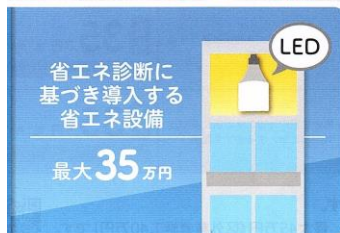
■統一省エネラベル3つ星以上
(多段階評価点 3.0 以上)



(例)統一省エネラベルイメージ(冷蔵庫)

受付期限：令和5年2月28日
(ただし、助成件数は申込順による700件)

エコ助成事業



申請方法

必要書類を添えて、必ず対象工事の着手2週間以上前に荒川区環境課へ申請してください。

申込期限：令和5年2月15日

就学前児童の入園状況

今年度の就学前児童人口は9492人、昨年度より476人減少しています。

幼稚園通園者数も、4年前と比べて区立園は192人、区内私立園は133人、区外私立園は198人それぞれ減っている状況です。



保育については、利用率は増加をしていますが、利用者数は減少傾向にあります。(右表参照)

今年度の就学前児童の状況

| 施設 | 通園者数 | 前年度比 |
|---------------|---------|-------|
| 区立幼稚園(子ども園含む) | 9園 335人 | ▲64人 |
| 区内 私立幼稚園 | 5園 673人 | ▲79人 |
| 区外 私立幼稚園 | 479人 | ▲96人 |
| 保育園等施設 | 5589人 | ▲114人 |

* 幼稚園は3~5歳児、保育園等は0~5歳児

今日の数字? 0人: 荒川区の今年度保育園待機児童数。0人は統計を開始した昭和58(1983)年度以降初めて。これまでの最少は平成26(2014)年度の8人、最も多かったのは昭和59(1984)年度の242人。近年は平成29(2017)年度の181人をピークに減少していた。保育利用率は58.9%で、23区では最も高い状況にある。

清水啓史 (47歳 昭和50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。平成19(2007)年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員4期目。無所属。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会、健康・危機管理対策調査特別委員会、議会運営委員会に所属。区議会会派「ゆいの会」幹事長。 家族は妻と娘(中2)。

